



Enjoy
SUMMER

夏休み

SPECIAL
OFFER



足立区立東島根中学校

図書館だより

2025年7月 第3号

発行：東島根中学校図書館

校長：大瀧 訓久

学校図書館担当教諭

学校司書：[Redacted]

貸出可能冊数大幅UP

7月7日（月）午後～9月5日（金）期間中

※
一人10タイトル（30冊まで）

ただし、利用者本人に延滞（返し忘れ）が無いこと、予約先着順、
利用中の巻には予約をつけてください。希望に添えない場合もあります。

※タイトルとはシリーズのことです。例：ハリー・ポッター本編全11巻、同一世界別主人公ファンタスティック・ビーストや
解説書、英語版などが学校にあります。副本を除く22冊全てで1タイトルとすることも出来ます。その他にも本編のみとか、3巻ま
で、日本語版と英語版など、自分で管理できる冊数を、楽しめる範囲で調節してご利用ください。

チャンス!

続きが
気になっていたんだ!



本の水濡れにご注意ください



本を持ち運ぶ時は濡れないように
ビニール袋などに入れましょう

心配な時はカウンターにご相談ください



図書委員の活動報告

6月は、学校行事の都合などで定期テスト前（6月）と後（7月）に2回委員会が招集されま
した。6月の議題はテストに向けての自習利用や学習参考資料の利用促進、7月の議題は夏休み
に読む本の利用促進を話し合いました。

新しいPOPが続々と学校図書館のサイト図書委員会のページを飾っています。

また、図書委員のおススメのブックリストも図書管理システムの学校の本の蔵書検索OPAC
に掲載してあります。

学校図書館前の廊下に特設コーナーを作成しました。ご利用ください。

CLICK HERE



学年貸出や授業利用（予定）

学年 1年生 魚沼関連資料、3年生 京都奈良関連資料

授業（予定） 国語

1年生 オリエンテーション#2 OPAC検索演習、2年生 調べる学習、

3年生 味見読書+夏休み読書感想文の本の検索貸出など



第71回青少年読書感想文全国コンクール 課題図書

オススメ!

No.	書影	書名▲ / 著者名 / 出版社 / 出版年 / 請求記号 /	CLICK HERE 
1		スラムに水は流れない ヴァルシャ・バジャージII著 出版：あすなろ書房 出版年：2024.4 請求記号：933/ば 配架区分：図書室	
2		鳥居きみ子[家族とフィールドワークを進めた人類学者] 竹内/紘子II著 出版：くもん出版 出版年：2024.2 請求記号：289/と 配架区分：図書室	
3		わたしは食べるのが下手 <Sunnyside Books> 天川/栄人II作 出版：小峰書店 出版年：2024.6 請求記号：913/て 配架区分：図書室	

鳥居きみ子 著者の竹内紘子氏の講演を聞いてきました。
「ものを書いていると人物が勝手に動き出す瞬間があるのです」という言葉が印象的でした。
きみ子の人生の選択が大きな研究につながっていく様子が生き生きと描かれています。



-スラムに水は流れない

ミンニはムンバイのスラム街に住み、水に不自由な生活を送っています。兄のサンシャインが「水マフィア」から命を狙われそうになり遠方に避難。母親のロニヒは病気で実家に。ミンニは学校に行きながら、母親の代理でアニータ奥様とピンキーに仕えます。親友のファイザもミンニと共に水マフィアの逮捕に協力します。

-鳥居きみ子：家族とフィールドワークを進めた人類学者

明治時代、遺跡見学会に参加したきみ子は、鳥居瀧蔵と結婚し、遺跡調査などを通して人類学に傾倒しました。幼子同伴のモンゴルの旅。数々の困難や危険を突破していく鳥居夫妻の苦労を描いていきます。幸子たち3人の子どもの協力も得ることができ、世界が激動する中、研究に邁進する様子を描きます。

-わたしは食べるのが下手

食べるのが遅く、食が細い葵。「完食月間」は地獄で、緊急避難した保健室で咲子に出会います。咲子も食べることを拒否しながら生きています。ハラル食のラマワティも加わって、「要望書」を提出しますが、栄養士の橋川先生から即却下。二人の家庭の事情と「給食改革プロジェクト」はどうなるのでしょうか？

図書館？図書室？ その役割は？

学校の中で「図書室」は特別な場所です。

他の利用者に迷惑にならない範囲であれば、なんとなく足を運んで涼んだり、小声でおしゃべりを楽しんだり、打ち合わせをしたり、静かに過ごしたい避難場所として一人になりて来たり、こっそり仮眠をとったり、自分の趣味や学習の場として今すぐには評価には直接関係ない（自分で調べる＝身になる本当の学習←大事！）情報を収集したりと、興味関心が広がる中学生が自由に過ごしやすい場として常に整備されている他にない場所だからです。

もちろん、本を読む、借りる、返す、調べる、自習をする利用者が最も優先されます。

学校の中にありながらも「学校図書館」は、「読書センター」、「学習センター」、「情報センター」としての3つの役割を果たすことを目的として運営しています。

「体育館」、「保健室」、「職員室」などと同じく、場所としては「図書室」と呼ばれていますが、委員会活動、授業のサポート、読書の相談、調べものの相談など全ての活動を含めて「学校図書館」と呼んでいます。

学校図書館では、全ての利用者の自由を尊重するためのルールとして、人としての社会のルールと図書館のルールが学校のルールとともに適用されます。社会のルール＝人、物を傷つける行為（人も身体も心も含めて）には、厳しく対応いたします。他者が、なんとなく「嫌だな」と思う迷惑行為を「ハラスメント」と呼んで一般社会でも様々な対策を行っています。

学校の中の図書館でも心地よい場所として存続させるためにハラスメントは厳禁です。

図書館のルール、清潔な手で、静かに、他の人に親切な態度で（＝今いる人や後に利用する人に配慮して）利用する。こちらとともにご活用ください。

